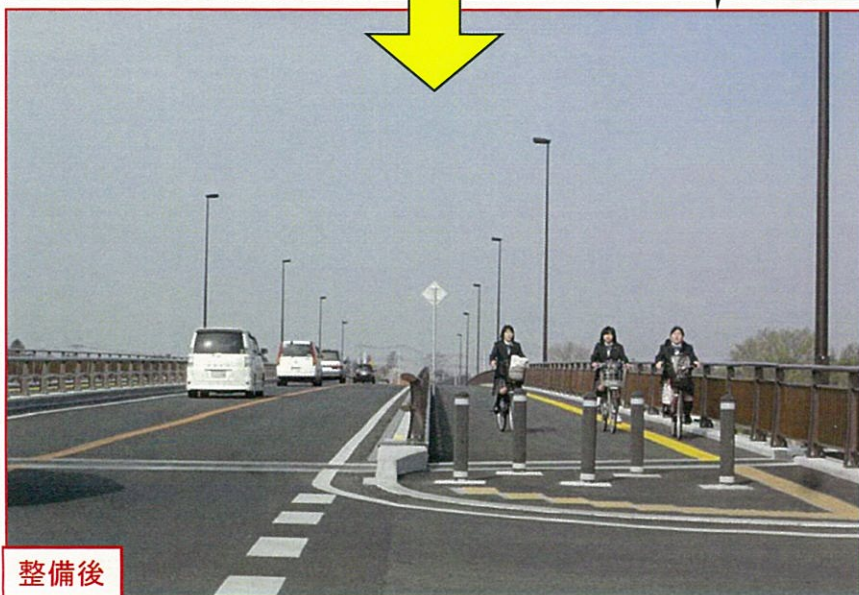


老朽化した橋の架替えにより、安全で円滑な交通を確保

— 都市計画道路 石下駅中沼線(常総市新石下) —



整備前



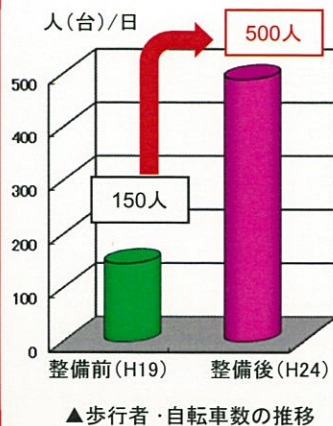
整備後

【課題】

- 昭和4年に架設された石下橋は、老朽化により4t以上の車両の通行が制限されていました。
- この橋梁は中学校や高校の通学経路であるとともに、石下駅から複数の工場がある旧石下町西部地区へ至る通勤路であるにも関わらず、幅員が狭く歩道もなく、歩行者や自転車は、車両と混在して危険な状況であったため、歩道のある下流の橋を利用する方もおりました。

【整備効果】

- ◎老朽化した橋を架替え、車両の安全かつ円滑な交通が確保されるとともに、両側に歩道を整備したことにより、整備前と比較して、歩行者や自転車が安全に通行できるようになり、その数は約3倍になりました。



【事業概要】

- ・期 間 H13～
- ・事業費 63億円
- ・内 容 老朽橋の架替